

松江市出雲玉作資料館

資料館だより

松江市出雲玉作資料館発行

〒699-0201 松江市玉湯町玉造 99-3

開館時間 9時～17時（入館は16：30まで）

休館日；月曜日・休日の翌日 TEL・FAX（0852）62-1040

■ 11月9日（火）玉湯学園3年生88名の生徒さんが玉作資料館を見学・学習

3年生は社会科の学習で地域のことを学んでいます。子どもたちと深くかかわりのある施設として、玉作資料館の様子や役割を学ぶために来館されました。



館長から“資料館”について説明をうけた後、展示室を見学しました。特に穴をあける体験コーナーが人気でした。2階では企画展「蛇喰遺跡の謎」を見学。へらがき土器の文字に関心をもってじっくり見ていました。

史跡公園でも職員から説明をうけ、古代からつながる場所だと知り、ふる里をさらに好きになったようです。

「これからも、勾玉について話を聞き、勾玉の魅力をさらに学んだりして、玉湯町のために出来ることを考えていきます。」と、先生からお礼のお手紙をいただきました。

後日、ろう石で勾玉作りをされました。

■ 11月12日（土）

企画展「蛇喰遺跡の謎」ギャラリートーク開催

当館片岡館長によるギャラリートークに20の方が参加されました。

館長の説明に参加者の皆さんはメモを取りながら熱心に聞いておられました。



■ 今月の一品 作品名：版画「北松江からみた大山」 作者：平塚運一 明治28年～平成9年 製作年代 昭和34年



平塚運一は旧八束郡津田村の大工の家に生まれ、高い技術力から「版画の神様」とも言われた版画家です。運一が住んでいた津田街道あたりには、当時、松並木が残っていたようで、その情景を描いた版画も残されています。

この絵は昭和34年頃に、一畑電車の松江の玄関口「北松江」（現在は「松江温泉駅」と改名）のある中原町から宍道湖を経て、大山を描いたものです。穏やかな湖面とぽっかり浮かぶ雲がよりいっそう力強く大山をひきたてています。 *受付横に展示しています。

■ 【休館日のお知らせ】

12/5(月) 12/12(月) 12/19(月) ★年末年始休館：12/28(水)～1/4(水)